



(昨年8月5日、子ども伝統芸能フェスティバル)

## 先人から 受け継ぐ(11) でん どう たけ こ まい 田頭竹の子舞

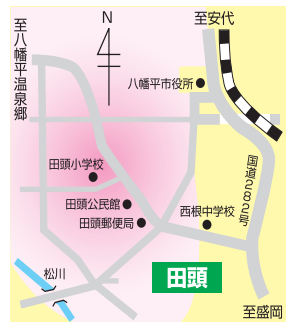
田頭竹の子舞は、江戸時代の盛岡藩・南部公のお抱え芸能集団「南部七軒丁」の演目の流れをくむもので、大正時代に盛岡の行商人が田頭地区に伝え、現在に引き継がれているものです。現在は市芸術祭などで披露されています。

踊りは、竹の枝に止まっている大勢の雀が地面から生まれ出るタケノコを見つ

けて、おめでたい文句とともに、「ミツサイナ(見なさいな)」とはやしあっている様子を表したものです。おめでたい席では「はやし舞」とも言われ、にぎやかで軽快な曲調です。

◎保存会代表 佐々木一夫さん

◎市指定無形民俗文化財指定日 昭和60年7月22日(旧西根町指定)



傍聴をしたことがあります。議会の生の声を聞くことは大切だと思いましたが。これからは周りの人々を誘って傍聴に行きたいです。そのために、もっと議会の日程を知る手段があれば良いと思います。また、議会だよりや広報はちまんたいで、市民の関心のある事業の記事を載せてほしいですね。

### 若い人たちを増やし 人口減少に歯止めを



まつむら こういちろう 松村幸一郎さん(松川)

議会のまど

※はちまんたい議会だよりNo.30(平成25年2月7日発行)の印刷経費は1部32.5円、発行部数は1万100部です。この用紙は環境にやさしい森林認証紙を使用しています。